



# 芙蓉の会だより

～介護予防は生きがづくりから～

第 17 号  
平成 24 年 12 月 1 発行  
連絡先 3689-0977  
(勝倉)

## おかげさまで 3 周年

10 月 2 日 地域の皆さまのご協力と芙蓉の会においで頂く多くの皆さまに支えられ、おかげさまで 3 周年を迎えることが出来ました。心より感謝とお礼を申し上げます。今後共どうぞよろしくお願い致します。

淡い紅葉から鮮やかな紅葉と日本列島を紅葉の便りが駆け抜け秋は深まり、暦の上では立冬を過ぎ朝夕大変肌寒くなりました。風邪には充分お気をつけ下さい。



鳴子の紅葉

### 祝三周年 10/2



手話で♪翼をください♪を



人生大の実習生を迎えて



カラオケで楽しく

10/16



カラフルな傘の出来上り



あらら！右と左が違うはずなのに！

11/6



松ぼっくりがこんな  
素敵なブローチに



ジャンケントークでいろんな人とお話を！

11/20



野菜や果物の名前を言ってポン



自分にそっくりな顔ができました

### 今後の予定

- 12 月 4 日 からくりカレンダー
- 12 月 18 日 クリスマス会
- 1 月 15 日 新年会
- 2 月 5 日
- 2 月 19 日
- 3 月 5 日
- 3 月 19 日 認知症ミニ講演会計画  
第 1 第 3 火曜(13~15 時)  
於 宇喜田十軒会館

### 母の糠(ぬか)床

わが家に大正末期、母と共に嫁ぎ来て、今も生き続けているぬか床がある。当時はひとかかえもあるような大きな樽で、着物にもんぺをはき、白い割ぼう着に手ぬぐいをかぶり、しょっちゅうぬか床をかきまわしていた母。10 人近くいた同居人の毎食膳にのる季節の野菜のぬかみそ漬けは大好物であった。母亡き後も「おいしいですね」と言われ、お好きな方にぬか床をお分けしてきた。そこここで生きていると思うと嬉しい。母の実家からのぬか床を考えると実に 90 年近く生き続けているわが家の宝物である。師走を迎え、ふとぬか床をかきまわすのを忘れて「忘れないで…」と母の声が聞こえるようである。 K